

**波佐見町講堂**

1937(昭和12)年に尋常高等小学校の講堂兼公会堂として建てられ、1995(平成7)年に小学校が新築移転するまで多くの町民が利用しました。昭和前期に建てられた木造洋館として大変貴重なもので、現在は講堂のみ保存されています。国登録有形文化財。



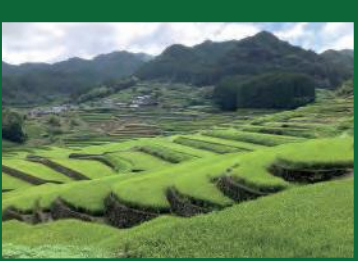
**くらわん館**

波佐見町内の35の窯元や商社・伝統工芸士の焼き物のほか、地元特産の地酒や手作りみそなどを販売。2階は資料館になっており、波佐見焼の歴史が学べるほか、陶芸体験などできます(要予約)。



**鬼木棚田**

虚空蔵山のふもとの斜面に石垣で畔を築き、棚田が何十段も重なるように広がる景勝地。春の田植えから秋の収穫まで四季それぞれの変化を楽しめ、日本の棚田百選にも選ばれています。



**陶郷中尾山**

陶磁器の産地として、現在も多くの窯元が集まる中尾山には、世界最大級の登窯跡やれんが造りの煙突、路地裏など、昔ながらの懐かしい風景が残っています。毎年4月には「桜陶祭」、10月下旬には「秋陶めぐり」が開催されます。



**鴻ノ巣公園**

幸せをもたらす鴻の鳥が飛来したという伝説が残る鴻ノ巣山の周辺に整備された公園。町内を見渡す眺めの良い場所にあり、展望台や芝生広場、遊具が整備されています。



**桜づつみ河川公園**

約5kmの長さの河川公園で、波佐見川(川棚川)の両岸堤防を利用して、遊歩道と桜並木が整備されています。春の桜、夏の新緑など、四季の風景を楽しみながら、ウォーキングや散策をすることができます。

つたえるけん  
**波佐見町**

地元が大好き！  
5人組のYouTuberが波佐見の魅力を明るく楽しく伝えています



今月のつたえるひと **波佐見アゲアゲTV**のみなさん  
メンバー全員、波佐見町出身・在住の29歳。町内の企業に勤務しながら、空いた時間にYouTuber「波佐見アゲアゲTV」として活動中。写真左から、カイト(太田海斗)、フミ(中島史彦)、ヤス(石永康央・リーダー)、ダイチ(久田大地)、ハマ(濱田圭佑)。

「もっと波佐見をPRして！」  
その言葉が僕らの原動力

2021年4月11日からインターネットの動画投稿サイト・YouTube内に、「波佐見アゲアゲTV」を開設し、週1回のペースで、地元の人でも知らない、気づいていないような波佐見の魅力を投稿しています。現在(2023年9月1日)までに192本の動画を投稿し、チャンネル登録者数は約2800人です。  
メンバーは波佐見中学校時代の同級生で、ヤスとハマは東京・愛知からのUターンです。発起人はカイトで、自分たちも楽しみながら、波佐見のために何かしたいという気持ちから集まりました。毎週木曜の夜の企画会議でアイデアを出し合い、土・日曜など仕事の休みの日や空いた時間に手分けして撮影や編集などを行っています。



「波佐見アゲアゲTV」は毎週日曜21時に配信

をノブレイキで下るとどこまで行けるかを検証した企画は、お笑いコンビのサンドウィッチマンの番組で紹介され、地元愛を感じると絶賛されました。また、田舎のあるあるを「Y.O.A.S.O.B.I」の歌で替え歌にして投稿したら、「笑えた」「共感した」など多くのコメントをもらいました。  
仕事をしながらYouTuberとして活動するのは大変な面もありますが、地元の人「面白かったよ」とか「もっとPRして」などの言葉が原動力になっています。  
僕たちの活動は「人と人をつなぎ、未来の可能性を広げる」という理念を掲げています。今後はYouTuberだけでなく、地元でイベントなども開催し、さらに波佐見を盛り上げていくのが目標です。

楽しみながらSDGs!  
**血山器替えまつり**

自宅にある不用品を血山地区の窯元や店舗に持参すると、それと引き換えに各店で好きな器を割引で購入することができます。持参した器はさまざまな用途で新たに生まれ変わります。血山人形浄瑠璃公演もあります。



日時:12月2日(土)・3日(日)  
9時30分~17時  
場所:波佐見町榑木場血山郷一帯  
問合せ:アイユー ☎0956-85-2600

産地の枠を超えたイベント  
**肥前やきもの園作家展**

唐津、伊万里、武雄、嬉野、有田、佐世保(三川内)、平戸、波佐見の8つの市町が連携する「肥前やきもの園」。この地域を拠点に活動している約30組の作家が、作品の展示販売を行うほか、絵付けや「蹴るくる」の実演、陶芸のワークショップを行います。



日時:11月11日(土)10~17時  
12日(日)10~16時  
場所:やきもの公園(波佐見町井石郷)  
問合せ:波佐見町観光協会 ☎0956-85-2290

**波佐見町のお土産**

**八三三米くらわんかセット**

波佐見焼を作る際に出る廃棄するはずの石こう型を、粉碎加工し土壌改良剤として再利用して育てた八三三米。その契約農家と波佐見焼の窯元14社が協力して開発した波佐見町の新たなお土産です。



問合せ/波佐見陶磁器工業協同組合 ☎0956-85-3003

表紙のはなし『波佐見やきもの公園』

古代から近世の世界を代表する窯12基を再現した世界でも珍しい野外博物館「世界の窯広場」があり、巨大なレンガ色の窯は18世紀にイギリスで使用されていた昇炎式の石炭窯「ボトルオープン」を再現しています。